



◆自殺予防対策委員会の活動から◆

自殺予防対策委員会では、自殺のおそれがある人の早期発見、早期対応を図り、自殺を未然に防ぎ、『生きやすい地域』を作るため、主に3つの取り組みを進めています。

- 身近な人の自殺のおそれを示すサインに気づき、見守りや、必要に応じて専門相談機関へつなげる人材を育成する「ゲートキーパー養成講座」の推進。
- 関係団体間の連携を深め、情報交換、情報共有を目指し、20団体で設立した「自殺予防連絡会」の効果的な運営。
- 悩みを一人で抱え込まずに、心の負担を軽くする相談先を記した「相談先案内カード」の普及啓発と「みのわ健康相談ダイヤル24」(☎0120-010-834)の周知。

WHO(世界保健機関)では「自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である」と明言しています。健康問題や家庭問題等、専門家への相談やうつ病等の治療について社会的な支援の手を差し伸べることにより自殺を防ぐことは可能だと考えます。

身近な地域で、「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」に取り組み『生きやすい地域づくり』に努めましょう。



【相談先案内カード】

◆横浜市栄区セーフコミュニティフォーラムに参加しました!◆

セーフコミュニティ国際認証を日本で7番目に取得した横浜市栄区のフォーラムに参加しました。フォーラムでは、栄区でのセーフコミュニティの活動紹介やパネルディスカッション、メッセージコンクールの表彰式などが行われました。栄区の特徴的な活動として、オリジナル曲にのせた「さかえっ子体操」を創作し、スポーツや野外活動時のケガの予防を目的に普及啓発に取り組んだり、災害安全対策分科会では、防災力の強化や災害時の要配慮者への支援対策に力を入れています。「地震災害は予防しにくい」との考え方もありますが、防災訓練や避難訓練等を重ねることで被害を少なくすることができます。箕輪町でもセーフコミュニティの視点から、さらに防災活動に力を入れていきます。



パネルディスカッションでの熱弁!



「さかえっ子体操」を少年野球チームの皆と!

児童の

防犯川柳

箕輪北小学校 5年1組

そのメールちゃんと読まなきゃ だまされる 山下 新士	オレオレだ その手に乗らない うそ電話 皆川 雅也	スマホはね無料いっぱい 危険もいっぱい 葉桐 リカ
----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------